

2016 年 3 月 7 日

THE NEXT 100 YEARS: BMW グループがモビリティの未来を創造

- ハラルド・クルーガーCEO: より良い解決策を追及することは BMW グループの DNA に組み込まれている
- プレミアム・インディビジュアル・モビリティの未来を展望
- BMW ビジョン・コンセプト・モデルが記念のワールド・ツアーに出発
- BMW フェスティバル – THE NEXT 100 YEARS をミュンヘンで開催
- BMW グループが財団の活動を強化

ミュンヘン発:

2016 年、BMW グループは「THE NEXT 100 YEARS」をテーマに創立 100 周年を祝賀する。未来志向で考え、進歩のための行動を採ること、これは今までの歴史を通して見ても BMW グループの明確なイメージとして培われている。そしてこれは、モビリティの魅力を分かち合い、共に体験する従業員たちの並はずれたチームワークによってもたらされたものである。

「より良い解決策を絶えず追及することは、BMW グループの DNA に組み込まれています。」BMW AG 取締役会会長のハラルド・クルーガーはミュンヘンで月曜日に行われた式典の幕開けでこのように述べ、「この精神は、当社の協調的活動にも反映されています。つまり、BMW グループの企業風土やリーダーシップの中に、このスピリットが文化として根付いているのです。」と語った。

BMW グループの 3 つの傑出した特性: 学習して適応する能力、技術革新の能力、企業としての社会的責任の自覚。「私たちは迅速に学び、勇敢に先頭を進むことができるということを繰り返し示してきました。」とクルーガーは語る。

これらを背景に BMW グループは、記念式典でも何よりもまず先を見据え、「10 年先の一人ひとりのモビリティはどのように発展しているだろうか。」と自問している。

その答えとして、BMW グループは明確なビジョンに基づいて斬新なシナリオを作り出した。BMW グループが提供するプレミアム・モビリティは、まったく苦勞なく、いつでも利用でき、個人の都合に合わせて調整できるということである。現在、世界は自動運転の実現に近づきある中、そう遠くない未来に多くの自動車が完全に自律走行ができるようになり、今日よりはるかに多くの人々が生活している都市を駆けぬけていることだろう。

そのとき、「時間」は最も貴重なリソースのひとつになっていて、そのためにはネットワーク化は当然のこととして、テクノロジーが人間から学習することになっているだろう。クルーガーは「未来のモビリティは、生活のあらゆる領域を結び付けるでしょう。私たちはそこにプレミアム・

モビリティの新たなチャンスがあると見ています」と語った。

未来に対するこうした展望は、コンセプト・カーBMW VISION NEXT 100 に具現化されている。スポーティなクーペ・スタイルとダイナミックでエレガントなサルーンの質感が融合する未来のクルマは、ドライバーにとってえたいの知れない乗り物ではなく、自分の意に沿ってすべてが調整された、極めて個人的な乗り物になるであろう。

「アライブ・ジオメトリー」がドライバーとクルマとの間の直観的な相互作用を実現。ドライブ・モードの「Boost(ブースト)」および「Ease(イーズ)」は、ドライバー自身が操るのか自動走行するかを選択を可能にし、モード毎にインテリアの雰囲気を一変させる。「Boost」モードではクルマ全体がドライバーにフォーカスし、理想的な走行ライン、ステアリング操作ポイントや最適な車速などの情報を提供し、ドライビング・エクスペリエンスを最大限に高められるようにする。「Ease」モードではインテリアが変化して、ステアリング・ホイールとセンター・コンソールが収納され、ヘッドレストが外側に寄り、シートとドア・トリム・パネルとが一体化することでドライバーと助手席乗員が互いに向き合うことができる。

BMW グループ・デザイン本部長のアドリアン・ファン・ホーイドンクは「デザイナーとして、もし何かをイメージできるのならば、いつかはそれを現実にする大きなチャンスがあります。」と述べ、「ですから私たちは BMW VISION NEXT 100 によって、人がそこに居ることを想像したくなるような未来のシナリオを描いてみたのです。」と語った。

BMW のコンセプト・カーである BMW VISION NEXT 100 は、2016 年 3 月 7 日にミュンヘンのオリンピック・ホールで開催された記念式典でワールド・プレミアを飾った。この日は現在の BMW AG が初めて法人登記を申請してから 100 年後に当たり、記念式典には政治、経済、研究、企業およびマスコミ関係の他、ディーラー、サプライヤーおよび従業員を含めた世界各国の約 2,000 名の来賓が招かれた。イベントではマルチメディアを使った演出により、社史の重要な出来事を通して未来のプレミアム・モビリティを紹介し、そのクライマックスではコンセプト・モデル BMW VISION NEXT 100 の除幕式を行った。

世界中の 140 か国で従事している 12 万 2 千人を超える従業員の熱心な取り組みがなければ、BMW グループの成功は成し遂げることではできなかった。そして世界中のほぼすべてのスタッフは、現地オリンピック・ホールで行われる式典をライブ・ストリーミングで同時に体験した。このライブ・ストリーミングに加え、世界の多くの市場では 100 周年にちなんだ独自の記念式典が開催される。特別な体験として、ミュンヘン周辺の 3 万名を超える従業員のためにミュンヘンのサッカー・スタジアム「アリアンツ・アリーナ」で生中継が行われた。

コンセプト・カーの BMW VISION NEXT 100 は、このワールド・プレミアの後、「Iconic Impulses.(アイコニックな刺激)」と題したワールド・ツアーの象徴として帯同し、中国、英国、米国を巡る。アジア・プレミアで北京を訪れ、その後さらにロンドンへ飛び、BMW グループの

英国を故郷とするブランドである MINI およびロールス・ロイスの 2 つのビジョン・モデルを公開。BMW グループ・ワールド・ツアーのフィナーレを飾る米国ロサンゼルスでは、4 つ目のブランドである BMW Motorrad のビジョン・モデルを公開する。

「Iconic Impulses. (アイコニックな刺激)」の主な内容は、ミュンヘンの拠点で長期的に行われるエキシビションでも体験できる。この春、BMW Welt のダブル・コーン内で未来の展示会が催される。さらに BMW ミュージアムでは、3 月 10 日から「100 Meisterstuecke (100 の傑作)」と題した百周年記念の期間限定展示を行い、BMW グループとそのブランドの中から 100 の歴史的な偉業を紹介する。

2016 年 9 月 9 日から 11 日まで、ミュンヘンでは「BMW フェスティバル – THE NEXT 100 YEARS」が世界中からのファンを待ち受ける。開催地はミュンヘンのオリンピア・パーク内にあるオリンピック・スタジアムやオリンピック・ホールである。また BMW ミュージアム、BMW Welt、さらに BMW 本社ビル(4 シリンダー・ビル)の周辺エリアも組み込まれる。

百周年を記念して、記念出版物を刊行する。計 13 巻で構成されるこの特別編集版は、企業の歴史と未来の主要なテーマに関する情報を提供。この特別版はエッセイ、ルポルタージュ、研究論文や専門家へのインタビューを掲載しているが、同時に BMW グループとそのブランドである BMW、MINI、ロールス・ロイス、BMW Motorrad の多様性を反映したものとなる。

創立 100 周年に際して、BMW グループは社会貢献活動を強化する。企業財団である BMW 財団ヘルベルト・クヴァントの資本を 5 千万ユーロから 1 億ユーロに増資。その他に、財団は活動を拡大するための寄付を毎年受け取るが、2016 年は 5 百万ユーロが加算される。大株主も財団に追加の資金を提供する。またシュテファン・クヴァントとズザンネ・クラッテンはプロジェクト活動のために 3 千万ユーロを追加支援する。